

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回 総合文化施設設計事業者選定審査会（ヒアリング後の審査部分）
開 催 日 時	平成27年 2月22日（日） 17時30分から 19時30分まで
開 催 場 所	総合福社会館 大研修室
出 席 者	会長：吉村委員、副会長：岸田委員、 委員：荒起委員、伊木委員、猪井委員、梅宮委員、林委員
欠 席 者	
案 件 名	1. 二次審査について （1）プレゼンテーション及びヒアリング （2）二次審査 2. その他
提出された資料等の 名 称	資料1（仮称）枚方市総合文化施設設計事業者選定に係る公募型プロポーザル二次審査関係書類 資料2（仮称）枚方市総合文化施設設計事業者選定に係る公募型プロポーザル二次審査評価表 参考資料1（仮称）枚方市総合文化施設設計事業者選定に係る公募型プロポーザルのプレゼンテーション及びヒアリングの実施要領 参考資料2（仮称）枚方市総合文化施設設計事業者選定に係る公募型プロポーザルのプレゼンテーション及びヒアリングの傍聴について 参考資料3 第4回 総合文化施設設計事業者選定審査会 会議録（案）
決 定 事 項	・二次審査を実施し、最優秀提案者を選定した。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	一部公開 枚方市情報公開条例第6条第6号及び7号に規定する非公開情報が含まれる事項について審議・調査等を行うため非公開とするが、本事業に対する市民の関心が高いことを鑑みて、プレゼンテーションとヒアリングの部分のみ公開。
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表 （公表時期は最優秀設計事業者選定後）
傍 聴 者 の 数	92人（プレゼンテーションとヒアリングの部分）
所 管 部 署 （ 事 務 局 ）	地域振興部文化振興課

審議内容

会長 審査会を再開します。案件(2)の二次審査です。ここからは最優秀提案者を見極める最も重要な審議になりますので、宜しくお願い致します。「価格提案の評価点」は、技術提案の評価の後に事務局で加算していただきます。審議を集中させるため、1者ずつ審議をしていきたいと思っております。確認しておきたい点やご専門の分野でお気づきの点がございましたら、積極的にご発言ください。それではヒアリング順に1者あたり15分くらいで進めたいと思っております。まずF者の技術提案について、いかがでしょうか。

副会長 ホールの配置について色々なご提案がありましたが、ホールの配置は基本的にはどういうものがよいのでしょうか。2つのホールができるだけ遠くに離れていることが望ましいのでしょうか。

会長 遮音の意味と、それから使いやすさなど色々ありますので、一概には言えないと思っております。

委員 遮音の精度を上げるということになると、同じ躯体の中に大小ホールを置くという処理になると思うんですが、どういう配置をしたから遮音性能が上がるということはないです。あとは、設計者の能力だったり、一部そういう能力が感じられる提案もあるんですが、費用のかけ方、建設の工法ということで遮音性能が上がっていくということになります。同じ躯体の中で、45度で配置しているのが2案あります。それから並列で横に少し舞台をずらしている提案、奥に持っていつている提案、20メートルも離れたという提案もありました。20メートルくらい離れただけでは遮音効果が期待できないです。これから先、もう一歩進める時の作り方とかお金のかけ方とかの部分にかかってくると思います。また、この技術提案書の図で評価する、ということではないので、図にあまりこだわらずに、質疑応答の中でそれぞれの設計事務所の持っている音響設計についての考え方が結構出ていたと思っておりますので、そここのところの印象でジャッジするべきだと思います。

会長 数者の提案の中に浮き床という話がありました。放送スタジオなんかでは規模も小さいので、浮き床にすることもあると思うんですが、今回のように大きなホールで浮き床というのはコスト的なことも含めてどうですか。

委員 5億以上かかるというお話でしたよね。ただ、小ホールも基本は音楽仕様ということを考えたら、視野に入れた方がいいですね。例えば、私どもの施設では、大ホールは音楽仕様で、中ホールは演劇仕様ですが、演劇仕様というのはミュージカルをやればPAを使うことがありますし、大ホールでも音楽とは言いながら、太鼓をたたくこともあって、これは振動も含めて躯体に響くわけです。二つのホールを分けて造ってはいるんですが、中ホールについてはホールの躯体ごと全部浮き床にしています。つまり、建物の躯体から1メートルくらい緩衝材を入れます。つまり、マンションの躯体の中にピアノ練習室を造っている、まさにあれに近い造りになっています。これは今後の枚方市の考え方で、小ホールでも音楽系の興行が多くなったりすると、工法上そのくらいの遮音精度を考えるということは検討材料だと思います。

会長 どちらかひとつを浮き床にしておくということですね。

委員 その場合、経済的に考えても小ホールですね。音の面では今お伝えしたとおりです。利便性の面では、45度の配置については、F案の最初に、縦配列にせず45度にした意味を書いておられますよね。こここのところが私はあまり理解できなくて、45度というのは、観客動線もそうですが、出演者の動線などを考えたらあまり良い案ではないように感じました。

委員 私も同感です。半端な部分が出たところに大道具搬入口を持ってきたように感じられますね。ホールの使命はやっぱり演じる方がどう使うかということにありますから、楽屋はできるだけ舞台に近い方がいい、そうすると舞台の真裏がいい。そういうところから私は機能性を優先して評価しました。

それと、できるだけホール全体ではなくて、舞台が音を出しますので、どう遮音するかを考える必要があると思います。私どもの施設では、電車が至近を走っているので、振動がすごいですね。それをどう止めるかということも考慮に入れたいといけない。例えば今回の場所で水圧がすごくあるのであれば、これだけの重量だと浮いてしまいますね。それを止めるために、床を上げるのがいいのか、沈めてしまう方がいいのか。それから、振動が影響するのであれば、音は最終的に大ホールでは使って、小ホールでは使わないということであれば、この案は生きてくると思うんですが…。いずれにせよ、使われる方が最重要ですので、楽屋が近くにあって、舞台にすぐ出られる、という使いやすさはアマチュアであろうとプロであろうと同じだと思うんです。その辺で他と比べてちょっと評価が下がるんですよ。

委員 もちろんこの形でジャッジするわけではないんですけど、この設計者の考え方にはちょっと頷けない部分がありますね。45 度に振った時に、実用面で、搬入の形で間に遮音板をとって、両側につけられるという説明がありましたけれども、365 日の中でそう多くはないかもしれないが、大型搬入が大にも小にもある可能性がありますので、45 度の角度の間に搬入口を持ってきているという構図は、舞台のことをあまり理解されておられないのかなという気がします。舞台とか舞台の搬入搬出についての認識が少し感じられないところがあると思いました。

会長 F 者については、大と小の搬入を完全に切り離していれば良いと思うんですが。あと、カルチャーリンクというものを提案しています。これは絵としても非常にきれいですし、言葉としても耳あたりがいいんですけど、これは評価していいのか迷うところです。

委員 土地利用とか施設計画という点で、ハードに落とし込んでほしいですね。つなぐという考え方はいいんですが、実際、それぞれの施設や広場なりの連携だと思うので、そのあたりを見ていくしかないように思いますね。言葉そのものにそれほど大きな意味を持っているようには感じられませんでした。

委員 省エネの関係で、LED を使うと提案されていますが、実は一般の LED でしたらランニングコストはとても安くなるんですが、現在の技術では舞台として求められる照度がまだまだ足りていないんです。それをオーダーで対応すると何千万円もかかるわけです。将来的にムービングライトが必要になってくるとか、そういうものを取り入れるかどうかの問題になってきますので、それで LED を付けるのではコストダウンはできない。綱元の問題で、芸文センターは電動で、我々のところは電動と手動を併用しているんです。ただ、歌舞伎もできるような綱元の技術者は絶対に少なくなっていくから、その時にどうするのかという、将来のことも考えないといけなくなってきました。それから客席でタブレット盤で操作をするとか、これはリハーサルなら聴く人と操作する人と二人必要ですが、タブレットを持って客席に行けば一人で済むなどということをもう少しいろいろ考えて省エネにつながるような提案をしてもらって、行政が考えることが大事だと思います。提案自体は少し違うかなと思います。

会長 LED は年々照度が上がっていますから、将来取り換えたらいいいわけですよ。現時点で提案するようなことでもないと思います。

委員 付帯民間施設ですが、子どもの遊び場とアーカイブカフェと2つ挙げておられるんですが、アーカイブカフェについてはその必要性が伝わってこなかったのと、子どもの遊び場がこの施設にとって大きな意味を持つのかもよくわからなかったです。

会長 屋上を遊び場にしておられます。たしかに建物の中からも見えるということなんですが、屋上広場を使うと、危ないとか治安の問題とか使用禁止になる例が結構ありますね。内外一体ということも分かるんですが、子どもは基本的には下の方で遊ばせたいですよ。お母さんからしたら文化施設の屋上で遊ばせたいと思うんでしょうか。

委員 だからこの形ということではないのかもしれませんが、緑地の処理の仕方も気になりますね。

会長 緑地を取りたいから取るというよりも、緑化が本当の目的ではないようなことも多いですから。緑化しすぎると維持管理も大変になりますし。人目に付かない屋上緑化はだいたい失敗していますね。目に見えるところでないと。ただ、提案としては積極性を評価してあげた方がよいと思います。それでは15分くらい経ちましたので、皆様お手元のシートに評価をお願いします。

全者の審議後に修正等を行っていただいても結構です。

会長 次のA者の技術提案に移りたいと思います。同様に確認事項がございましたらお願い致します。

委員 小ホールと大ホールの間を移動する時は屋内なんでしょうか。間を移動することはあまりないんでしょうけれど、別棟みたいに建てる案ですよ。

会長 上の方は別棟ですが、低層部はつながっていますね。共通のロビーで行き来することができるように見えます。A者については、プレゼンテーションを聞いていて、技術的な面で説明にやや疑問がありましたね。小ホールと大ホールの間だんだん広場があって、ガラススクリーンで仕切っても、コスト的にそんなにアップしないとっておられました。実際はすごい柱がいっぱい出てくるのではないかと、またスクリーンを動かす音がすごいのではないかと。

委員 可変とおっしゃっていましたよね。まず、運用上の必然性が見えないです。それと実際にできるのかということ。

会長 コストダウンと提案されている一方でお金がかかる提案になっていて、どこにコストをかけるのかというポリシーが感じられなかったですね。地下駐車場もガラススクリーンもダメだったら、この案は成り立たないといいますか、実績はあると思いますが、大ホールの観客席を閉じるという提案もそうですし、いろいろイニシャルもランニングもかかりそうなものばかりという印象でした。

委員 この図でいうことではないんですが、楽屋数や規模など、大ホールのキャパシティを考えたときに極端に狭くて少ないと感じました。これは、ホールに対しての基本的な認識が甘いんじゃないかなと思いますね。楽屋の取り方もすごく不自然です。

会長 これも図で評価することではないんですが、リハーサル室の位置とか大きさとか形とか、アクティンクエリアくらいはある方がいいんですが。そういうことは例え図であっても、分かっているという姿勢を示してくれた方が良かったのですが。

委員 キャパシティを断層で分けていくというのは市の方の考え方にあったのでそれでいいのですが、上層階を扉で閉めることについて、質問に対する答えが少し間違っているのではないかという気がしました。席数を小さくしたとして、扉を閉めれば残響が下がるというわけではなく、かえって変な状態になる可能性があります。こういう考え方とそれに対する説明が少し納得できない気がしました。

委員 外観デザインについての考え方・コンセプトとして、周囲の景観との調和が必要ですが、周りの建物のデザインが悪いんだという発想で話されていました。そうではなく、既存の建物と合わせていくことも必要ですから。非常に個性のある建物で枚方の特色を出そうすることは良いんですが、ここだけで考えるというのはちょっと違うように感じました。ヒアリングで質問もしましたが、その点に対してきちんと答えて頂けませんでした。

委員 小ホールとイベントホールで色々な細工をされていて、お金もかなりかかりそうなんですが、それを理解した上で、枚方市のソフトにはこういうものがあるからこうしたいんだ、という説明があれば皆納得できるんですが、それが無いのに、ただお金をかけるだけであれば、評価できないですよ。

会長 色々アイデアは持っておられるんですが、幕の内弁当的といいますか…。

委員 付帯施設にしてもそうですね。アイデアはたくさんあるんでしょうけれど。

会長 引き続きまして、E者に移ります。いかがでしょうか。

委員 付帯民間施設について、コンソーシアムを組むなどここで大学の講義をするということを書いているんですが、先ほどの説明では、サークル活動のようなご説明でした。

会長 授業といっても、フィールドワークくらいのことなのかなと。

委員 講義ということであれば、使われ方をあまり意識しておられないのかなといえますか、ただの空きスペースになってしまわないかなという気がしました。サークルだといいますが。

会長 私の大学では、近くにある商店街の空き店舗を使ったフィールドワークなどがありますので、可能性はいろいろあります。

委員 誰が運用するかによりますよね。劇場の指定管理者になるのか、市がやるのか、この部分だけ別の主体がやるのか。運用者がそれをきちっと果たすことができれば、機能するかは分かりませんが悪い事ではないと思います。

会長 ホールとしての考え方はどうですか？

委員 すごく分かりやすい提案だと思います。ホールで大事なものは、ホール全体もそうなんですけど、建物の中に入ってから出演者とお客様の流れとか動線とかが分かりやすく、利便性が高いことだという観点からすると、ホールの置き方も平明に置かれていて、観客から見ても分かりにくいことはないのと、搬入も含めた舞台回りとか、楽屋の数もすごく確保されているので、舞台を使う側からの視点をしっかり持った設計であるという気がします。それから、顧客の利便性も、かなりシンプルに作ることで分かり易い動線という印象ですね。基本的には2層から3層で処理されているフライタワーを除いて、この案に何か色づけをしてください、という提案だと思うので、そういうたたき案としてはいいコンセプトだと思いますね。不都合をあまり感じないですし。ホールについても、かなり長けた受け応えだったと思います。

委員 ラポールとの連携もここが一番よく考えられていましたね。デザインだけではなく、実際の機能や会議室の利用など、かなりソフト面まで考えておられる印象でした。連携の視点はかなり評価できると思います。

会長 両施設は距離的にも近いですし、外部でデッキだけつながっている案もありますが、これは行き来が期待できるなど。それと、機能的には何か、オフィスビルのような効率の良さを感じましたね。外観にも表れてまして。今はこれは外観とかは関係ありませんが、基本的な構成能力が非常に高いと思います。これから設計に入ったらたたきがいのある提案ですね。

会長 コスト的にも他者よりも、かなり分かりやすいですね。

委員 設計では変えられるんですが、搬入口の上にリハーサル室がありますので、高さを取れないで作ってしまう恐れがあります。そういうのは注意しておかなくてはならないですね。その辺を変えられたときに、階高なども変わってきますし、そこをどう抑えるのか、というような課題がこの案にはあるように思います。

副会長 皆さんがおっしゃられるように、この案は非常に分かりやすかったですね。面白くはないのですが、シンプルにまとまっていますね。

会長 最初はシンプルな方が、いろいろと変えやすいという利点もありますね。変えにくいというのは問題もありますから。まあ、その他にも問題点もありますから、それぞれのお立場で評価して頂ければと思います。

会長 それではC者です。ヒアリングの時に少し申しましたが、このC者の一枚目にあるようなフリーハンド的な図の書き方が本来のプロポーザルで想定している図面だったんですが。本来、応募者の負担を極力軽くするという意味もありましたので、このフリーハンドの図に表現された内容をよく見ていただければと思います。

これは私も指摘したんですが、敷地のど真ん中に駐車場ということですが、これ、特にホールの搬入とかその他の点で、問題はありませんか。必ず上に上がらないといけない計画ですが。

委員 機能的には悪いとは思いませんね。ただ、施設の下に駐車場があるというのはどうでしょうかね。

会長 例えば傾斜地で、それをうまく生かしてということだったらわかるんですが、わざわざ持ちあげているので。例えば障害者団体の方からしたらどうなのか、とか気になってしまいますね。

委員 駐車場の台数については、今後設置者が考えていくことではあるんですが、この考え方が悪いわけではないですが、これくらい中途半端な台数を、結構いいスペースにもってくるという場合、停めきれない可能性がすごく高いです。良い場所なのに、すぐに満員になるというような。ここで50~60台というのは少し無理があります。その辺、観客との動線とかの考え方が甘いのかなという気がします。

会長 障害者の方は車で来る、という説明がありました。絶対数は電車で来る人の方が多いと思いますね。

委員 車椅子の自動車分担率の割合が、確か3割程度だったと思うのですが、たしかに、一般の方に比べて高めではありますが、やはり公共交通のバスとか鉄道の利用率も高くなり、徒歩が減っているので、必ずしも車ではないということから考えますと、ちょっとまとめすぎという気がしますね。

会長 この案の配置も45度に振っていますね。

委員 この案のコンセプト、プラットフォームという考え方は悪くないと思うんです。あくまでも基礎の提案ということは理解できますが、施設の概要であったり、劇場・音楽堂を建てるという考え方に対する説明に、あまり専門性が感じられなかったですね。その辺に不安要素があると思います。この45度のプランも仮の形ではありますが、やはり、この形は利便性から考えると不都合があると。

会長 そもそも45度ということに問題がはらんでいるということを理解しているなら提案してこないわけですからね。

委員 建物自身を放射状にもっていこうとする全体的なデザインは理解できるんですが。それから交流センターからの動線ですが、仮には置いているんですが、この2階動線の取り方は、繋ぎますというだけで、ここの部分に主張がないですよ。他の提案はここの部分にかなり方策が提案されているんですが。

会長 それではD者に移ります。

委員 整備計画では北側道路から府道13号線には出られないということになっていましたよね。現道で信号もありませんので、出られないのに書いているんですが。ここについて質問したかったんですが、時間がありませんでした。ただ、13号線は交通量が多いですから、協議したとしても、難しいのではないのでしょうか。現道で右折できないと思うんです。

委員 プレゼンターの迫力がなかなかのもので、音楽ホールの設計ということに関しての自信というか、力をお持ちであるなというのは良く伝わってきましたね。ですから、ここで書かれている範囲内とか、ご説明の範囲内ではかなり、音楽ホール設計に長けた強さを感じますね。

会長 この大小ホールを離すメリットは音響的にあると思うんですが、奥までずっといかななくてはならないとか、その辺どうですか。

委員 ヒアリング時に質問し、20メートル離れたという説明でしたけれど、こういう形で置こうと、横で並列で置こうと、もともと同じ躯体の中ですから、ここに楽屋を挟んだくらいで遮音の精度が上がるかなというのはちょっと気になりました。それから、観客の動線です。ここは、奥に小ホールがありますから、ちょっと難しいところもあるのかもしれませんがね。この施設は小ホールの方が基本的には稼働率が高くなると思いますから。

委員 ここはラポールとの連携は否定的でしたね。壁とおっしゃっていましたし、邪魔というような感じで話されていましたし。

委員 ホールの真ん中にフライタワーをもってきて、北側からの視覚のさえぎりとか、建物全体の景観とか、それらを全部合わせて、この形を選ばれているのかなと思いますね。

会長 いろんなアイデアをもっておられるので、力量は感じましたね。

委員 施設のデザイン性を主張したいというか、この形には結構自信を持たれているんでしょうね。

委員 力はあるそうですね。

委員 ただ、イニシャルコストがどうなのかなと。

委員 機能的には変更したらかなり良くなる要素はもっているんですよね。ただ、今言われたように、維持してくれるのか気になりますね。

委員 これは評価に入れるつもりはありませんが、豪華なロビーは、ちょっと地域型のホールではないんだろうなという印象を持ちました。

会長 前が表参道とかだったらいいんですが。演目よりも早く来てここで待つということですが、演目が無い時にどうなるのかという部分の質問には、まったく答えて頂けませんでした。

委員 デザイン性からすごく主張はされているけれども、D 者は枚方での独自性ということに対して、そう気遣いが無いのかなと思いましたね。

委員 この提案には自転車駐輪場の記載がないんですね。中学生を引き込むというお話がありましたが、そうすると彼らは自転車で来るだろうと思うわけです。この大ホールのホワイエを見ると高級なものではあるのかもしれませんが、枚方のイメージに合わないなという気がしながら、自転車も周りに放置されたらどうなるだろうということも心配になります。

委員 駐輪場は大事ですよ。我々のところでも、平日の昼公演となると、高齢者の方も自転車で来られることが多いですから。非常に必要なことですね。

委員 そういうところに配慮がないのかどうか、質問できなかったのも、分からないんですが。

委員 この建物のデザイン性とか、周辺の色々な施設の置き方、広場の置き方とか、それに関してはかなり評価できるんですが、この地に相応しいのかどうかということに関して少し疑問がありますね。逆にいうと、こういうシンボリックな建物を建てるというのも、一つの考え方ではあるんですが。

会長 それでは最後のBですね。

委員 原っぱ、ということなんですが、ここは駐車場を平面で多く取っておられて、駐車場にも芝生が生えているということなんですが、そういう意味では原っぱなのかなという風に考えていたんですが、ただ、駐車場が結構広いので、それで原っぱという割には緑が少ないんじゃないかなと思いついて見ました。

会長 ラポールの広場も一緒に整備することは可能なんですか。

事務局 一体的な利用は可能だと考えています。

会長 ホールとしての評価はいかがですか。

委員 2階部分より上は別外壁になっていますが、1階部分に関しては共有されフルフラットという表現がなされていました。遮音に関しては大小ホールの動線できちっと確保されているということなので、他の提案と一緒に、これから先どう進めるかなんですが、ホールの置き方としてもこの案も平明な配置で、出演者とか観客の方の動線がいいのかなと。フルフラットということは、基本的に観客は1階から入る、逆にいうと1階席というのは2階部分から降りる人の方が多いから、観客の流れという意味ではちょっと気になりますね。他の提案は基本的には2階部分から降ろそうという考えですが。

会長 イベントホールと小ホールが一体的に、というのはどうですか。

委員 どんな運用を想定するかだと思うので、一つの考え方としては面白いと思います。ただ、イベントホールが別の動きをしているときに、同時開催で小ホールが他のことを行うとどうなるのか。イベントホールでPAを使うような場合は、音が当たりそうな気がしますね。

委員 機能的にはまとまっていると思いますね。ただ、舞台の後ろにリハーサル室があるというのが気になるんです。音を出すとホールに響きますので。

会長 アイデアとしては面白いんですが、現場から見たら使い勝手が悪いかもしれませんね。リハーサル室や楽屋をほかの用途に使うというのはどうですか。

委員 それはあると思いますね。使っていないときに、そこでイベントをすとか。ただ、リハーサル室にはホールと同じだけのアクティグエリアが欲しいですよ。

委員 アクティグエリアが確保されていないと、意味がないですね。あと、駐車場を北側で処理するというのは考え方としては分かりやすかったんですが、出演者、関係者動線と観客動線がすべて同じところで処理されているので、これは運用上、搬入も含めて絶対にぶつかります。ここの所は配慮が足りない気がしますね。

会長 先ほどの説明では外壁を丸く、厳密には多角形にするということですが、この丸くするというのにかなりのこだわりが感じられましたね。ただ、委員がおっしゃられたように、イベントホールは離さないといけないとか、リハーサル室が違うということになっていくと、丸い形が崩れてしまうかもしれません。丸く収めるために、こんな風になったという状況かもしれませんし。プロポーザルの場合は、その提案内容とガラッと変わることはよくあることなんですが、この丸にこだわりがあるとか、フルフラットにこだわりがあるというふうに言われると、あまりこだわるとそれが設計に影響するかもしれません。基本のホールとしての評価は悪くないですね。

委員 聞き忘れたんですが、フルフラットはいいんですが、大も小も、入場動線が1階にも2階にも描かれているんですね。だけど、スタッフの人員配置からして基本的にどちらか一方になるわけですので、もしデッキが主な流れになって、交流センターまで上でいけるということになると、フルフラットにしている意味が薄れてしまいますね。

会長 図書館なら評価されるのかもしれませんがね。その他の提案について、色々と書かれていますが、内容自体は普通のことで、あえて特記するほどのことではないですね。

会長 以上で、全ての提案者の審議を行いました。最後にもう一度確認しておきたい内容や言い忘れた点がありましたらお願いします。最後になりますので感想でも結構です。よろしければ資料2の評価表に記入をお願いします。ご記入がお済みの方は事務局に提出をお願いします。それでは集計をお願いします。

(事務局で集計)

会長 それでは審査の集計ができましたので、事務局より報告してください。

(事務局より集計結果のご報告)

会長 集計結果についてご質問等はありませんでしょうか。では、二次審査の結果、E 者が最優秀提案者と決定しました。2 位が D 者、3 位が B 者、4 位が C 者、5 位が A 者、6 位が F 者ということで、間違いないでしょうか。よろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

会長 それでは、これより事務局へ審査結果を答申させていただきます。

(会長から事務局への答申)

事務局は、速やかに各提案者への二次審査の結果を通知してください。それではそろそろお時間となりました。案件2「その他」について事務局から何かあればお願いします。

事務局 本日の会議録につきましては、事務局で案を作成して各委員にご確認頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。それでは最後に、会長から一言頂ければ幸いです。

会長 当初この仕事を頂きましたとき、今までプロポーザルの仕事は経験してまいりましたが、その規模といい、内容といい、未経験のものでした。しかし、こういう方々が委員として就任される予定であるというのを聞きまして、この皆さんとならよい審査ができるかな、きっとできるだろうということで、お引受けいたしました。各提案者がかけたエネルギー、労力、時間、それを決して無駄にせずに、それに報いる審査にしたいということでしたが、私は少なくとも今日の審査は非常に良い結果になったのではないかと思います、改めて委員の皆様、事務局の皆様に感謝申し上げます。それから、色々な面でサポート頂いた、コンサル業務を担当された方々にも心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

それでは第5回審査会を終了したいと思います。本日は長時間お疲れ様でした。